

# し ぜん さい がい 自然災害にそなえるまちづくり

か こ

## 1 過去に発生した自然災害

へいせい 23年3月11日に、東北を中心に東日本大震災が起きました。地震によって、東日本には大津波がおしよせ、多くの人々が、家や家族を失ってしまいました。静岡県でも、地震や津波の被害がありました。



発生した年	地震	
1944年	東南海地震 M7.9	静岡、愛知、岐阜、三重の各県に被害が多く、全体で死者・行方不明者1,251名、家屋の全壊16,455棟など。遠州灘沿岸で1～2m、下田市で最大2.1mの津波に襲われた。
2009年	駿河湾を震源とする地震 M6.5	死者1名、負傷者319名、家屋の全壊はなかったが、半壊6棟、一部破損8,672棟など、静岡県中部を中心に被害が発生した。
2011年	静岡県東部の地震 M6.5	負傷者50名、家屋の一部破損521棟など、富士宮市、富士市を中心に被害が発生した。

大きな被害をあたえる地震や津波の災害に対して、吉田町はどのような対策をしているのでしょうか？

自分たちには何ができるのでしょうか？

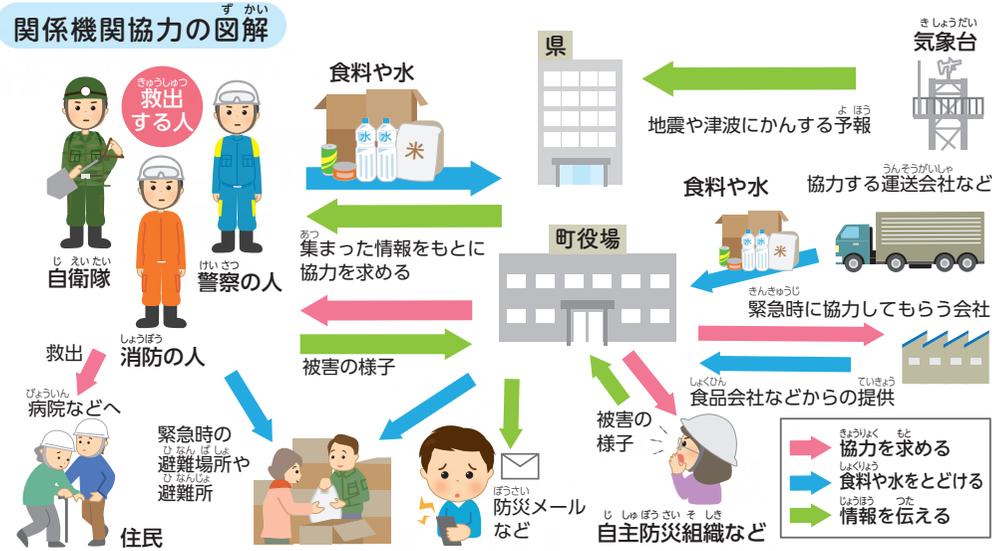
## 2 地震や津波にそなえるまちづくり

わたし 私たちの住む静岡県では、これまでに大きな地震が発生していることから、再び大きな地震が発生するのではないかと心配されています。万が一、地震が起きた時、被害をできるだけ少なくするために、国や県、市町では、防災計画を立て、準備や訓練をしています。

吉田町では、地震や津波に備え、どのような準備がされているのでしょうか。

### (1) 関係機関の連携

下の図のように、地震や津波から住民を守るために、市町や県、国などの関係機関が連携をとっています。また、市町が中心となって作成する地域防災計画も、毎年見直しがされ、住民の安全を守るために工夫がされています。



## (2) 学校・地域・町の準備

### 学校の準備

地震や津波から学校生活を守るために、学校にはどんな準備がされているのでしょうか。学校は、地震などの災害の時には、地域の人たちの避難場所にもなります。



### 地域の準備

地震が起きた時は、地域の人たちが協力し合うことが大切です。そのため、地域の防災訓練では、いろいろな内容の訓練を行っています。



地震が起きた場合のことを考えて、避難経路や防災食を確認しました。

けがをした人への応急処置のやり方も教えてくれました。自分や家族の身を守るために、これからもしっかりと参加しようと思いました。

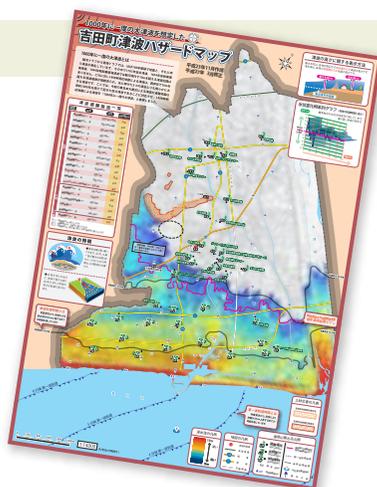


## 吉田町の準備

### ①意識を高める

#### (津波ハザードマップの作成)

津波への防災対策と、町の人たちが地震や津波のことについて理解し、防災意識を高めるように、津波のハザードマップを作りました。



津波ハザードマップの詳細はこちら

### ②防災ガイドブックの作成

町の人々の防災に対する備えに役立つよう、最新の避難場所・避難所の位置や町の間での取組を紹介する、吉田町地震防災ガイドブックを作成しました。



### ③防災訓練の充実

地域の自主防災組織や学校と協力して、計画的に防災訓練を行い、みんなが自分の命を守り、助け合えるようになっています。

家族みんなで避難する場所を確認しておこう。



#### ④津波避難タワーの建設<sup>けんせつ</sup>

津波から町の人を守るために、避難タワーを15基建設しました。



避難タワーは、どんなところに建設されているのかな。



津波避難タワーの詳しい場所はこちら

#### ⑤情報を早く伝える

町の防災行政無線<sup>びょうせい むせん</sup>を聞くことができる受信機<sup>じゅしん き</sup>(防災ラジオ)を各家庭<sup>かく か てい</sup>に配<sup>くば</sup>ることで、情報を<sup>かくじつ</sup>確実に伝えられるようにしています。

また、町公式LINEでも防災行政無線<sup>な</sup>で流れた内容を確認できます。



防災ラジオ



ここから各種防災情報が入手できます。

#### ⑥吉田町洪水ハザードマップの作成<sup>こうずい</sup>

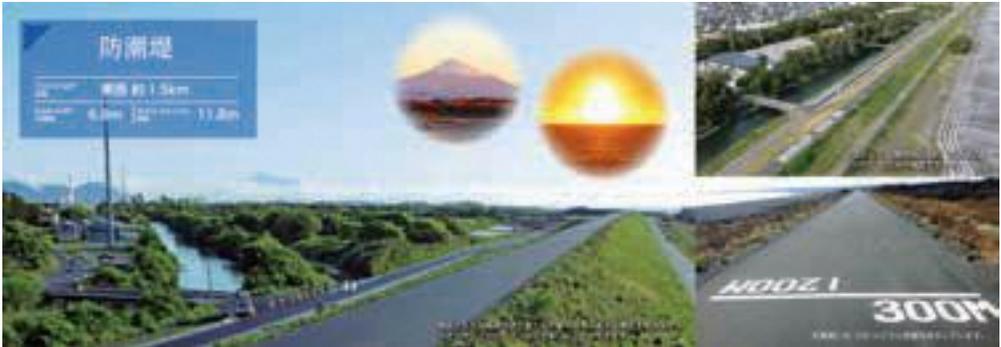
大井川<sup>おおいがわ</sup>、湯日川<sup>ゆいがわ</sup>、坂口谷川<sup>さかぐちやがわ</sup>が最大<sup>さいだい</sup>想定降雨<sup>そうていこうう</sup> (1,000年に一度程度の確<sup>どていど</sup>率<sup>かく</sup>で起こる降雨) <sup>りつ</sup>により堤防<sup>ていぼう</sup>が壊<sup>こわ</sup>れたり、水があふれ出たりした際<sup>さい</sup>に想<sup>そう</sup>定<sup>てい</sup>される被害<sup>しめ</sup>を示した「吉田町洪水ハザードマップ」を作成しました。



洪水ハザードマップの詳細はこちら

ぼう ちょう てい  
⑦ 防潮堤の建設

えん がん ぶ  
沿岸部を津波被害から守るために、土を盛<sup>も</sup>ってつくる  
かわ しり  
川尻防潮堤が令和4年5月に完成しました。



せい び  
⑧ 北オアシスパークの整備

じ ちよ すい  
災害時には、貯水タワーやマンホールトイレなどの防災  
きの う ひ さい しゃ  
機能を備えた被災者対策の拠点<sup>きよてん</sup>となります。





## ⑨ 吉田町水防センターの整備

吉田町は、国土交通省が整備した大井川川尻地区河川防災ステーション内に水防活動を行う拠点として必要な機能を備えた「吉田町水防センター」を整備しました。

